

# だいにこく通信 第二十号「冬の号」

いあつわつ

日頃より当神社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。

少し前までは暖かい陽気が続いていたのですが、急に冷え込みが厳しくなりました。急激な気温の変化によるものか、境内の桜もいつになく美しく紅葉し、目を楽しませてくれていました。

さて、社報「だいにこく通信」も今号で第二十号となりました。第一号を発行して以来、丸五年が過ぎようとしております。今後も、つたない紙面ながら、当神社の取り組みをご紹介します。ご参拝の参考になるような内容をお伝えしてまいりたく存じます。

今回の内容は新年の祈禱時間のご案内、催し物のご報告、神社にまつわる豆知識をお伝えする「お宮あれこれ」、そして、オリジナル・キャラクターが活躍する連載まんがなどです。

来年もなにとぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。どうぞよいお年をお迎えくださいませ。

大國神社 宮司 大島資生



## 平成二十七年新年祈禱時間のご案内

一月 一日(木) 午前零時～二時 午前六時～午後五時  
 二日(金) 午前八時～午後五時  
 三日(土) 午前八時～午後五時  
 四日(日) 午前八時～午後三時  
 五日(月) 午前八時～正午  
 六日(火) 午前八時～午後三時  
 七日(水) 午前八時～正午  
 十二日(月・祝) 初子 午前九時～午後二時



## 平成 27 年の厄年一覧(数え年)

	前 厄	本 厄	後 厄
男性の厄年	24 歳 平成 4 年生 さる	25 歳 平成 3 年生 ひつじ	26 歳 平成 2 年生 うま
	41 歳 昭和 50 年生 う	42 歳 昭和 49 年生 とら	43 歳 昭和 48 年生 うし
	60 歳 昭和 31 年生 さる	61 歳 昭和 30 年生 ひつじ	62 歳 昭和 29 年生 うま
女性の厄年	18 歳 平成 10 年生 とら	19 歳 平成 9 年生 うし	20 歳 平成 8 年生 ね(ねずみ)
	32 歳 昭和 59 年生 ね	33 歳 昭和 58 年生 み(いのしし)	34 歳 昭和 57 年生 いぬ
	36 歳 昭和 55 年生 さる	37 歳 昭和 54 年生 ひつじ	38 歳 昭和 53 年生 うま

※近年は女性 61 歳の還暦も厄年とする場合もあります。

## 大國神社の今

「第一回だいいこくライブ」を開催しました。」

新たな催し物のシリーズとして、去る十月二十五日に第一回「だいいこくライブ」を開催しました。「琵琶デュオ」のお二人、後藤幸浩さんと水島結子さんをお迎えしてのライブでした。

『平家物語』（那須与一）、『梁塵秘抄』、『閑吟集』という古典作品から、熊本の民話「むかでのつかい」、「五木の子守唄」まで、迫力ある弾き語りを楽しませてくださいました。琵琶という楽器の幅広い可能性をみせていただいたと思います。だいいこくライブはこれからも継続していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## お宮あれこれ〜三方（さんぼう）〜



神社でご神前にお供物をお供えする際、よく用いられる道具が三方（さんぼう・写真右）です。今回は、前号の「連載まんが・大吉うさぎ」でも話題になっていました、この三方を取り上げます。

三方の素材はヒノキなどを薄く削った「へぎ」と呼ばれる板です。三方は、

「折敷（おしき）」（写真左）と呼ばれる盆の下に、四角い筒状の台（「胴」といいます）がついた形をしており、もともと、折敷と胴は分かれていて、使うときに胴の上に台を載せたもののようなものです。

現在は胴の上に折敷を固定したものをを使うのが一般的ですが、神前結婚式の神酒拝戴の時のように、折敷だけを使用することもあります。

三方も折敷も、材料には素木（しらかき）を使うのが本来ですが、耐久性を



高めるために塗りを施す場合もあります。当神社では素木のものとして塗りものを両方使っています。

ところで、三方には前後があることをご存知でしょうか。本来、折敷は綴じ目が見えないほうが正面です。前ページの写真も、綴じ目が見えています。あれれ、とお思いになったかもしれません。実は、折敷は正面を神様に向けて置くのが正しい置き方です。したがって、ご神前にお供える場合は、折敷の綴じ目のない側を神様の側に向けます。そのため、ご神前に向かうと、こちらからは折敷の綴じ目が見えることとなります。

一方、胴のほうは綴じ目のある面以外の三つの面に穴が開いており、折敷とは反対側に綴じ目がくるようになっていきます(左



上の写真は三方を後ろからみたところ(左)です。これは、向きを間違えないための工夫だと思われま

さて、そうすると、正しい置き方をしたときに、胴の綴じ目は神様の側に向いてしまします。これで良いのでしょうか。どうなのだろうと、思って、先輩の神主さんにかがって見たところ、神様は胴の上の折敷しかご覧にならないのだから問題ないでしょう、とのことでした。



なお、三方の胴にあいている穴の形は宝珠をかたどったものようです。そして、この「三方」という名前は綴じ目以外の三つの面に穴が開いていることからきています。

ところで、三方と同じく、お供物を載せる台として、上の写真のようなものもあります。「雲脚台」といい、足の部分が雲形になっていることからこの名前が





# 祭礼・祈祷などの案内

○次回甲子祭

平成二十七年二月十七日(火) 午前五時～午前九時

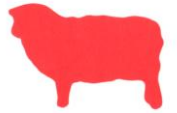
(一)祈祷日 二月十八日(水) 午前八時～午後一時

二月二十二日(日) 午前八時～午後一時

○開運千人講祈祷祭 毎月一日 午前六時～正午まで

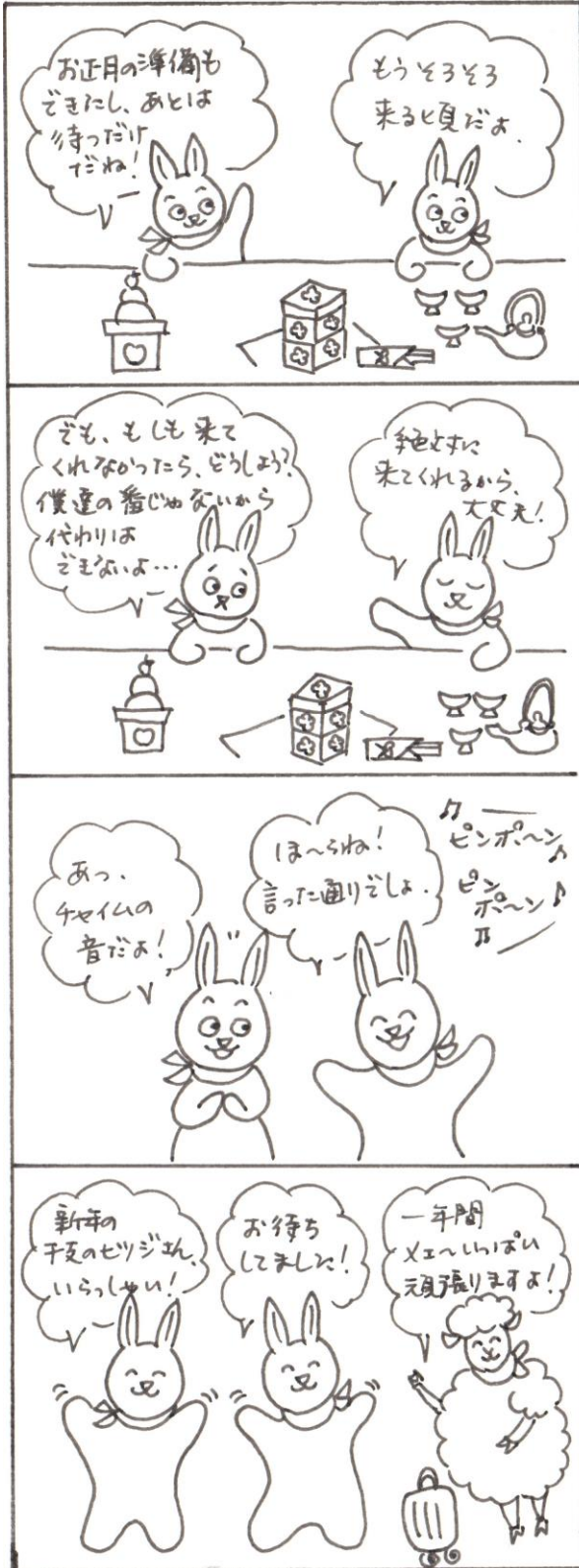
○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは下記の電話番号にお願いいたします。不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話しく下さい。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈祷を行なっております。祈祷日時については、お電話にてご相談ください。



(連載まんが)

## 大吉うさぎ ～お客さんはだあれ?～ くま こまち 作



〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三三九一八一七九三〇(携帯) ○八〇一八九八七二一六

eメール daikokujinja@gmail.com

### 次号発行予定

「だいいこく通信第二十号」、いかがでしたか。次号「春の号」は、平成二十七年二月十七日の甲子祭に発行予定です。

「だいいこく通信」第二十号 平成二十六年十二月十九日発行  
編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇一〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二二一十一

<http://www.daikokujinja.org>